



AFS つくば

公益財団法人 AFS 日本協会 茨城つくば支部 ニュースレターきぼう 11 号 (2022 年 12 月発行)



AFS とは

AFS は、高校生の交換留学を主な活動としている民間国際教育交流団体で特定の政治・宗教に偏らない非営利組織です。国際本部をニューヨークに置き、世界中で活動する数多くのボランティアの支援のもと、加盟 50 以上の国・地域間で異文化教育交流を行っています。

いま、世界は紛争が絶えず、平和な状態とはいえません。世界中にはいろいろな価値観が存在しています。このような世界で、平和と相互理解を推進するために行動を起こしていけるような地球市民を育てることが平和への近道だと AFS は考えています。

そのために AFS は、地球上の多くの人々に異なる文化と接する機会を提供し、人種・性別・言語・社会的地位の違いにかかわらず、基本的人権と自由が広く世界で尊重されるよう、自らの交流活動を通じて実践します。AFS は、すべての個人、すべての国と文化にそれぞれの価値があると考え、人間の尊厳、差異の尊重、調和、感受性、寛容の精神を基本的価値観において活動しています。

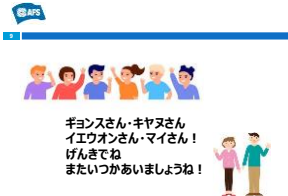
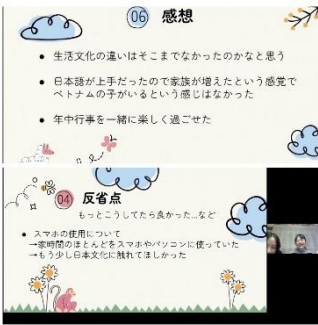
2022年度 茨城つくば支部活動

新型コロナウイルスのため支部活動の多くの行事はオンラインで行ってきました。しかし徐々に対面による行事も再開し始めました

中間オリエンテーション・帰国前オリエンテーション・架け橋4期生送別会

今年もオリエンテーションやイベントの多くはオンラインで行いました。

架け橋生の送別会では留学生生活を素晴らしいプレゼンテーションで発表してくれました。またホストファミリーからもその生活の様子などすてきな報告や、オンラインで家族全員ひとりひとりからのお別れメッセージなどがありとても楽しい送別会でした。



3月10日 五十嵐つくば市長表敬訪問

つくば市の五十嵐立青市長に表敬訪問をさせていただきたく申し入れておりましたが、コロナ禍のため、オンラインでとお話が進んでいました。しかし 2 月末に緊急事態宣言が解除されたことに伴い、対面での訪問が実現しました。

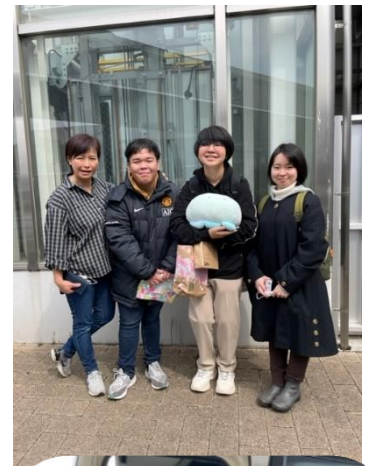
対策を充分にとっていただき、広い会議室に場所を設定してくださいました。市役所から事前に生徒たちの資料をもとめられていましたが、当日市長は各自にいろいろな質問やご自分の体験などをお話くださり、留学生からのツーショット写真にも気軽にお答えいただき、気さくなお人柄で大変和やかで充実した時間を過ごすことができました。

訪問終了後市役所の食堂で懇親会を持つことができました。通常生と架け橋生は初めての対面でしたがすぐに打ち解けていました。



3月13日 架け橋4期生帰国

コロナのために見送りは最小限。それでもそれぞれのホストファミリーや友人、支部員たくさんの人たちに見送られて4期生たちは、いっぱいの異文化体験と思い出を胸に帰国の路につきました。また会いましょうね。



6月25日、7月2日架け橋5期生がつくばに到着

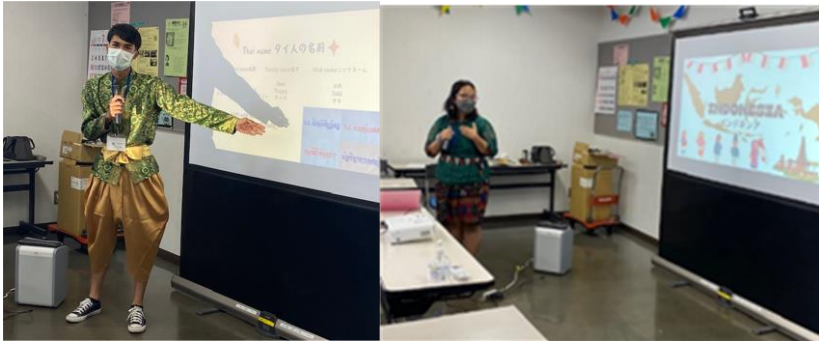
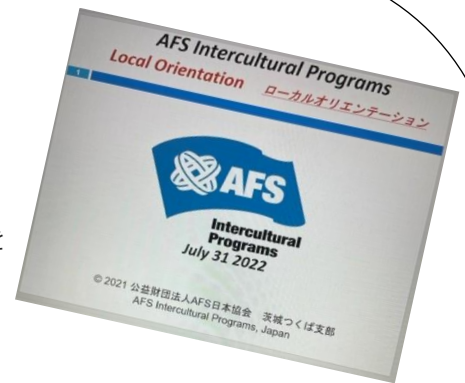
これから始まる留学生活にドキドキ、ワクワクのイメルダさん、レイさんとサキさんそしてハーさんとヤームルさん。たくさん楽しい思い出を作りましょうね。



7月31日 ローカルオリエンテーション、歓迎会、留学報告会

3年ぶりに対面での支部イベントを開催することができました。

初めにつくば支部にきて一か月経った架け橋生たちとローカルオリエンテーションを行いました。自己紹介からホストファミリーでの様子、寮生活、学校生活などの様子を話してもらいました。そしてAFSのルールやコロナ禍での過ごし方も確認しました。少しずつ日本での生活を体験してそれぞれの目標に向かって歩み始めていました。



つづけて歓迎会と帰国報告。帰国した68期生、出発を待つ69期生たちの紹介のあと、架け橋生たちが自国紹介のプレゼンテーションを行いました。それぞれの国の様子、名所、旧跡、食べ物や音楽、そして家族や自国の学校の様子など素晴らしい紹介をしてくれました。



帰国報告ではフランス留学の竹俣さん、スイス派遣の大野君がとても素敵な留学報告をしてくれました。

69期生たちは出発前の抱負を語ってくれました。また帰国した68期生に対して質問などもあり、留学に対する心構えなどのアドバイスもありました。

やはり対面での支部行事はとても楽しく、充実したものでした。



茗溪学園閉寮期間中

ホストファミリー滞在

夏休み明け橋生たちは寮を出てホストファミリーのお宅ですごしました。家族の一員として迎えていただき、忘れられない体験をしたようです。

彼らにとっての大切な日本の家族です。レイさんは塩野家。サキさんは待山家、小林家、中野家で過ごしました。



10月15日 茨城留学生研修バスツアー参加

茨城県国際交流協会のバスツアーが開催されました。つくば支部からも架け橋生女子3名が参加しました。

好天にめぐまれそば打ち見学や袋田の滝見学、リンゴ狩りなど楽しい一日を過ごしました。



10月30日 つくば霞ヶ浦りんりんロードと魅惑の筑波山麓

茨城県国際交流協会のサイクリングツアー。「つくば霞ヶ浦りんりんロード」を筑波山にむかって20km 自転車で走りました。その後バスに乗り換え、フラワーパークやウイスキー蒸留所を視察しました。観光農園での柿狩りも体験しました。疲れた！！でも楽しかった！



12月9日ワールドキャラバン

ワールドキャラバンは茨城県国際理解教育推進協議会／茨城県国際交流協会による事業の一つとして行われるプログラムです。茨城県留学生親善大使として任命されている AFS の留学生も講師として県内の学校へ出かけ、自国の紹介などのプレゼンテーションを行って来ます。コロナ禍のため実施されていませんでしたが、今年再開されました。今年は東洋大学附属牛久高等学校グローバルコースでの授業でした。架け橋生トルコのヤームルさん、タイのサキさんが参加しました。50 分の授業時間に講和として国の紹介、日本へ来た理由、今勉強していることなどをプレゼンして、その後高校生たちと質疑応答などを行う授業をしました。彼らの準備したプレゼンはとても楽しく、笑いあり、拍手ありの授業でした。



12月11日中間オリエンテーション & クッキングイベント

架け橋生は中間オリエンテーションを行いました。留学生活も半分が過ぎ、今の様子やこれからの目標、より良い留学生生活を過ごすにはどうすればよいかなどの再確認をしました。



クッキングイベントには 68 期生、70 期生そしてホストママも参加をして楽しくスタートしました。今回のクッキングは事前にアンケートをとり、作ってみたい料理を募集しました。その結果、メニューはハンバーグとふわふわオムライス。みんな大好きですね。支部員の多くのが留学経験のあるリターナーなので、それぞれの体験などを話しながらの楽しいクッキングとなりました。小さなメンバーも立派な戦力で大忙し。二つの班に分かれてのクッキングですが、それぞれ個性あふれる料理が出来上がりました。お母さんチーム作の豚汁とスイートポテトも食卓に上がり、おいしいクッキングイベントになりました。



ただいま留学中 69 期生

現在留学中の 69 期生より近況報告が届きました。

【ドイツに来て 1 ヶ月～Lauingen より】

69 期ドイツ派遣 真家有里奈

留学が始まって 1 ヶ月が経過しました。現在の近況報告をさせていただきます。

7 月 9 日、成田空港からフランクフルト空港まで 14 時間の長いフライトを終え、無事にドイツに到着しました。

その翌日、初めてホストファミリーの方と会い、Lauingen での生活が始まりました。

Lauingen は想像していた以上にとても綺麗な街並みで、素敵な景色に驚きの感情と Lauingen でのこれからの生活に心が躍ったことを鮮明に覚えています。

ホストファミリーは皆とても優しく辛いことがあった時はいつも相談に乗ってくれます。おかげでとても安心して元気に毎日過ごすことができます。ファザー、ブラザーは英語ができるのでコミュニケーションに問題はあまりありません。しかし、英語ばかりで話しているとドイツ語の上達に繋がらないのでなるべくドイツ語で話してもらうようにしていて、わからなかったら英語で話してもらうような形でコミュニケーションをとっています。

1 ヶ月が経ち、お互いのことが少しずつ分かってくるので、その上で気遣いや感謝をしっかり行うように日々心掛けています。



ホストスクールでの生活もとても充実しています。言語の壁はまだありますが、沢山の友達が優しく色々と教えてくれるので学校の生活には段々慣れてきました。学校は音楽学科と経済学科を選択出来るようになっていて、もちろん私は音楽が大好きなので音楽学科に入り、バイオリンを専攻しました。音楽の授業では有名な作曲家の曲をみんなで分析したり、先生とのマンツーマンの楽器の授業があったりなど、たくさんの知識や技術を学べて、受講していてとても楽しいです。

それ以外のドイツ語や数学などの授業はやはりまだドイツ語のスキルが未熟なので、授業で書いたノートを家で翻訳し、予習をしてから毎日学校で授業を受けるようにしています。

毎日が初めての事だらけでワクワクする事も、辛い事も沢山あって感情の波が激しい 1 ヶ月でしたが、一つ一つクリアしていくことで自分自身が成長していくような気がしています。

あっという間にドイツに来て 1 ヶ月がすぎてしまいましたが、やりたい事はまだまだ沢山あるので、これからも新しいことにどんどん挑戦し、ドイツでしか出来ないことを沢山経験していきたいと思っています。



【イタリアでの最初の1カ月】

69期イタリア派遣 石川璃一

9月8日に日本を出発し、イタリアに来て早いことに1カ月が経ちました。いくつか私が体験したことや感じた事について書きたいと思います。

私のホームステイ先は、イタリア北部のスイスとの国境近くに位置するCOMO県です。ミラノから北に車で1時間程の所です。ホストファミリーは、マザー、ファザー、22歳の大学生のブラザー、そして1歳年上のブラザーは、私よりひと足先にアメリカへ留学中です。



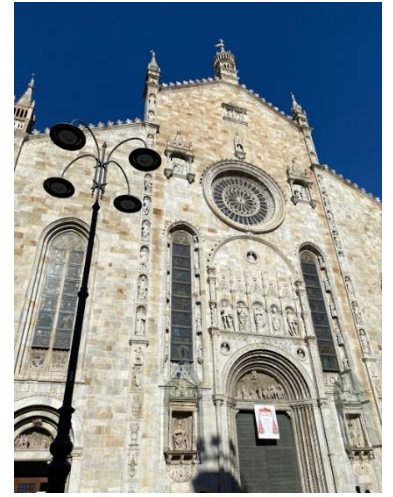
初日はローマに到着し、世界中から来た留学生（300人位いたと思います）が集まってwelcome partyがありました。とても盛大でした。その翌日に電車で6時間程移動してホストファミリーが待っているベルガモの会場へ着きました。私のホストマザーは座席

を立ち一番前にきてRIICHIと書かれてある日本国旗を振ってくれ、とても嬉しかったです。そこからは全てが未知の体験で不安というよりも楽しみというのが大きかったです。

まず学校についてです。イタリアに到着して、1週間後に学校がはじまりました。イタリアの高校は5年間になるので、日本で高校1年生の私は3年生になります。経済を専門とする学校です。クラスは、18人の少人数で教室はとても小さいです。授業は、算数と英語以外、今はまだ何を言っているのか分からない状態です。もっとイタリア語を頑張らなければいけないです。

イタリアの高校の多くは、昼食前に授業を終わらせて帰宅となります。私の学校も6時間の授業を13時50分に終わります。その為、休み時間が少なく一気に6時間授業を受けるので、最初はとても疲れましたが、その後に沢山の自由時間があるのは日本では考えられません。週に1日だけ8時間授業があり、昼休みは30分と短く、外に出てご飯を買って食べたり、弁当を持ってきたり食べたりしますが、30分しかないのでは外に出る場合はかなり急ぎます。部活などはないので、放課後はスポーツクラブやジムなどに通っている人が多いです。私も日本ではテニス部に所属していたので、今は週に1回ですがテニスクラブに通っています。イタリアはサッカーの国ですので、これを機にサッカーも上手になりたいと考え、サッカークラブの体験にも行きましたが、みんな体格も良いしレベルも高いので、サッカー素人の私にはとても難しく断念しました。

次にAFSのコモ支部についてです。12月までの週2回、イタリアのAFSが支部単位でイタリア語の授業を用意してくれていて、コモ支部の留学生8人と放課後にイタリア語のレッスンを受けています。高校はみんなそれぞれ違う高校に通っています。この授業では今は基礎的



なことを学んでいて、日本にいた時にやっていたところもあるので楽しく授業を受けられています。授業後にはジェラートを食べに行ったりしています。イタリアの文化だけでなく、他の国の文化も知ることが出来たり交流ができるので良い時間となっています。

週末は、おばあちゃんの家に行ったり、親戚が来たり。山が多い地域なので、この1カ月でスイスの山とコモの山と2回登山に連れて行ってもらいました。景色が信じられないほど、壮大で綺麗です。

いくつかの驚いたことについて。一つは交通について、知ってはいましたが車は右側通行です。また、Uターンスポットが多くあります。交差点の代わりにサークル状の道があり、そこで進行方向を変えたり右に行ったり左に行ったりします。これが多いので信号が少なくスムーズに感じます。また、道の途中に少し凸になっている部分が度々あります。そこを通るときは必ず減速するので危険なスピードを出させないためにもこの方法はいいなと思いました。

あとは、夜の外出について驚きました。ホストブラザーの友達と仲良くなり、その友達に夜、MacDonaldに誘われました。帰ってきたのが10時30分くらいになってしまい、勿論、友達と行けて楽しかったのですが、とても遅かったので家族に謝ったら、イタリアでは夜に友達と遊びに行くのは普通のことだと言っていました。日本ではあまりそういう事をしないと話すとても驚いていました。



まだ一か月しか経っていませんが、ホストファミリーをはじめ本当にみんな優しくしてくれてもらっています。そのおかげもあり毎日笑顔で過ごすことができていて、新しい体験に驚きや楽しさが多く、充実した時間を送ることができています。これからも頑張っていきますのでどうぞよろしくお願い致します。

【ハンガリーでの生活】

69 期ハンガリー派遣 田上 貴実子

こんにちは。69 期ハンガリー派遣の田上貴実子です。私はウクライナの西隣り、ハンガリーにきています。ハンガリーにきては 2 ヶ月経ちましたが、幸いロシアのウクライナ侵攻やコロナの影響はさほど感じないで過ごしています。

ハンガリーにきて前は不安でいっぱいでした。今もなおチャプターや学校など様々な問題があり、忙しい日々ではありますが元気に生活しています。2 ヶ月経った今できるようになったこと、これからの課題、目標について簡潔に話していきたいと思います。

私は正直他の留学生と比べて英語が上手くはありません。AFS のグループセッションでは話していることが理解できず、とにかく早く家に帰りたいかったです。(笑)いざ話してみても、頭の中では完璧だった文法もよくぐちゃぐちゃになってしまいます。今でも文法は上手くできないままですが、自分の言いたいことを言えたり、日本語を簡単な表現に言い換えたりしてから話したりすることで以前よりも話せるようになりました。



最近、私の学校では AFS 派遣生の日本人の子を受け入れました。日本語が喋れるという点では悩みを共有することができ、お互いにとって嬉しいことです。しかし、せっかくハンガリーにきたのについて日本人同士仲良くしてしまい、留学した意味が薄れてしまったり、学校に日本人がいることで自分の特別感がなくなり、私は少し複雑な気持ちです。また、授業では筆記体を使い、日本のように綺麗に大きな文字を書ってくれる先生はあまりいません。筆記体が分からない私にとって全く読めないような授業もあります。2 ヶ月経った今でも苦労しています。



ハンガリーでは英語ではなく、ハンガリー語を使っています。学校では自分の知らない言葉が飛び交っていて、自分が人見知りをしてしまうこともあり、話の輪に入ることができませんでした。しかし、今ではクラスメイトは英語で話しかけてくれたり、クラス以外の子とも話す機会もあり友達が出来ました。



先日の Halloween では、写真のようにかぼちゃをくりぬいたりして楽しくパーティーをして過ごしました。また、オーストリアへ旅行もしました。ヨーロッパは陸続きなので簡単に国境を越えられて貴重な体験ができています。

私の目標はこの 1 年でハンガリー語を喋れるようになることです。今はまだ全然わからないですが、今後も精一杯頑張りたいと思います。



留学に向けて 70 期生

【ポルトガルに行ったら】

70 期ポルトガル派遣 池上 愛子

私はポルトガルに行ったらやりたいことが主に 2 つあります。

1 つは、ポルトガル料理を食べることです。なぜなら、私は食べることと作ること（特にお菓子）が好きからです。ポルトガルは料理が美味しいと聞いているので、すごく楽しみにしています。また、できたらホストファミリーと料理の教えあいをしたいです。



もう 1 つは、友達をつくることです。私は小学生の頃に 10 代向けの海外ドラマを見ていたからか、海外の生活にすごく興味があります。なので、たくさん友だちを作って留学生活を楽しみたいです。

なぜこの 2 つなのかというと、私は海外と日本の文化の違いを体感したいからです。留学したら文化の違いを体感するために、自分で積極的にいろんなことに挑戦したいです。

今はまだポルトガル語習いはじめたばかりで全然話せないし、コロナウイルスもあって予定通り行けるとは限らないけれど、出発するまでに日本のこともポルトガルのことももっとしっかり調べて、悔いの残らない留学にしたいです。

【デンマーク留学に向けて】

70 期デンマーク派遣 藤井ゆうか

私は幼いころから、海外と多くの関りを持っていました。親の仕事柄、海外に行く機会が多く、おそらく、日本国内を旅行した回数よりも海外に行った回数のほうが多いはずです。「留学に行きたい」と初めて家族に話したのは 2021 年 11 月でした。家族は反対も賛成もしませんでした。それから、派遣国やかかる費用、奨学金など、全て自分で調べ、いくつかの候補国を決めました。その中でも特にひかれた国が私の派遣国、デンマークです。

私の人生を変えたのは、小学 1 年生をカナダで過ごした経験です。初めて 1 年間を日本以外の国で生活し、初めての学校生活もカナダで過ごしました。まだ日本語を取得しきっていなかったこともあり、一時は日本語を完全に離せなくなりました。そして、カナダで小学 2 年生に上がった年度（日本では小学 1 年生の 9 月）に日本に帰国しました。帰ってきて何よりも驚いたのは、日本の教育の仕方でした。カナダでは大きいテーブルを先生も含めて、皆でディスカッションをしながら授業をすることが普通でした。また、宿題はテストも無いに等しかったです。しかし、日本では、一人一人が自分の机で先生の話の聞いているだけで、発言は先生が許可したときのみという授業方法でした。さらには、宿題がほぼ毎日あり、テストもあるのが普通、中学校では順位が出るということにはとてもショックを受けました。その後、ずっと日本の教育に疑問を持ちながら、いつかまた長い期間を海外で過ごし、日本とは異なる教育を受けたいと思っていました。

デンマークは知っているけどわざわざ行こうとは思わない、という人が多いと思います。（実は調べれば調べるほど魅力的な国です！）そんなデンマークを私が派遣国として選んだ理由は、教育制度が日本と真逆でカナダに似ていることや、

動物先進国であることからです。私は将来、獣医や動物福祉関係の仕事に就きたいと考えていて、「また日本とは異なる教育を受けたい」という思いと将来への学び、両方が得られるデンマークへの留学は当然の道だったのだと思います。

中学 3 年生が始まってすぐ、留学することが決定しました。一番大きな壁は、進級するか休学するかを選択でした。進級すれば、自分で 1 年分の授業に追いつかないといけな。休学すれば友達のいる学年を離れないといけな。何か月も悩んだ末、私は休学することを選択しました。友達と離れることはとても辛いです。高校の授業に一人で追いつける自信がありませんでした。留学から帰ってきた私なら一つ下の学年にいても大丈夫、そう自分に言い聞かせています。このことを決めた直後から「留学行かないで」「進級して」「なんで留学するの」といわれるようになりました。そのたびに、寂しさを覚え、少しだけ気持ちが揺らぎます。ただ、私は自分のために留学に行くことを決めたので、これも成長につながる！と思って日々を過ごしています。



最後に、私は留学に行くうえで家族と約束したことがあります。それは「最後は自分で決めること」と「失敗を恐れずチャレンジすること」です。留学中は悩みや辛いこと、揉め事がたくさんあると思います。また、言語が通じにくい中、一人でいろいろなことをこなさなければいけません。

その時に、失敗を恐れずチャレンジし、どんなことも最後は自分で決め、自分の行動に責任を持つことを約束しました。私はこの約束を胸に、デンマークで、誰よりも充実した 10 か月を過ごしたいです！！

帰国報告 68 期生

【フランス留学を終えて】

68 期フランス派遣 竹俣海優

私は高校2年生の9月から10か月間フランスに留学しました。語学や文化への興味からフランスへの留学を決めました。幼いころから高校留学は夢でしたが、実際にフランスに内定したのは中学3年生の時でした。感染症の影響で67期での留学は頓挫しましたが、1年後に無事に渡航することができ、10か月間現地で生活できたことは非常に有意義な体験でした。



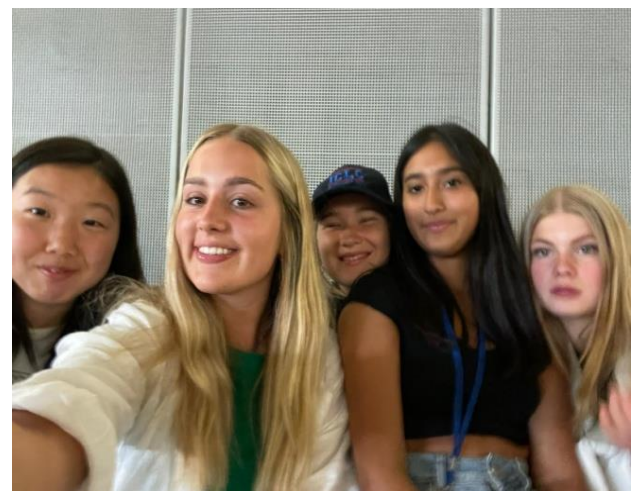
私はフランス南部の Brive-la-Gaillarde という素敵な街に滞在していました。日本とは異なる景観に初めは圧倒されました。街を散歩するだけで楽しく、時間がある日は学校から家まで歩くこともよくありました。

ホストファミリーには大変お世話になりました。とても親切な方々で、内気な私にも積極的に話かけてくれたり、拙いフランス語で話すのを最後まで聞いてくれたりしました。13歳と11歳のホストシスターたちと10歳のホストブラザーとも初めは距離がありましたが、すぐに打ち解けることができ、一緒に勉強したり、ピアノを弾いたり、遊んだり、充実した毎日を過ごしました。



ホストスクールは私立高校で、最終学年に配属されました。フランスではバカロレアという卒業試験があり、同級生たちは必死に勉強していました。日本の教育スタイルと全く異なるのが新鮮でした。授業では積極的に発言することや意見を述べるのが求められました。友達にも恵まれ、充実した学校生活を送ることができました。

私が今回の留学で大切にしていたのは人との出会いです。ホストファミリーを始め友達や学校の先生、留学生、支部のスタッフさんなど多くの人に支えられて10か月を乗り越えることができました。フランスの人たちは自分の軸をしっかりと持っていて、周りに流されず自分を貫き通す生き方が素敵でした。



フランスから帰国して早くも1か月以上が経ちましたが、フランスで過ごした10か月間は非常に濃厚で、日本では絶対に経験することのできない時間でした。今後は留学経験を生かして語学学習の支援に携わりつつ、これから留学する学生や日本に来る留学生のサポートができるような人になりたいと考えています。最後に、留学を応援、サポートしてくださった全ての人に感謝しています。ありがとうございました。

アジア高校生架け橋プロジェクト 4 期生

2021 年 10 月からアジア高校生架け橋プロジェクトの 4 人の留学生がつくばで学びました
2022 年 3 月 15 日帰国しました

ホストスクール	国籍			氏名	HF
茗溪学園高等学校	韓国			キム ギョンズ 呼び名：ギョンス	茗溪寮 仲山家 (休暇中)
茗溪学園高等学校	フィリピン			キアヌ アイバリアガナ 呼び名：キヤヌ	茗溪寮 深作家 (休暇中)
並木中等教育学校	韓国			シン イエ ウオン 呼び名：イエウオン	川崎家
並木中等教育学校	ベトナム			マイ ゴック チン 呼び名：マイ	角田家

私の留学体験

並木中等教育学校 イエウオン（韓国）

約 6 ヶ月間の留学で、私は様々なことを学びました。まず、お互い国籍、文化や価値観が違って友達になれるということです。そして、異なる文化を受け入れることはとても楽しいことです。私は留学生活を通じて日本の友達をたくさん作り、いろんな文化を教してもらいました。違う文化の人と仲良くなることは思ったより簡単で、楽しかったです。



そして、やりたいことは怖がらずにやってみる！と思いました。私が留学を決めたのはいろいろな理由がありますが、1 番の理由は単純に楽しそうだったからです。実際生活をしたら、大変なこともありましたが、いい思い出もたくさんできました。もし私が一人で外国に行くのを怖がったり、不安に思って諦めたら絶対後悔したと思

います。私が感じたのは、自信がなくてもやってみるとなんとかなるし、思った通りにいなくても、そこから学べることはたくさんあることです。

だから、これからはもっと色々なことに挑戦しようと思います。今回の留学で広がった私の国際的視野を活かして国際的な活動にも挑戦してみます。6 ヶ月間、素敵な思い出をくださったみなさんに感謝します。



並木中等教育学校 ゴック・マイ・チン（ベトナム）

日本での5ヶ月の生活と勉強は長すぎも短すぎもありませんが、それはまた私にたくさんの新しく面白い経験を与えてくれました。毎日、学校の友達や先生など、そしてホストファミリーと一緒に家での生活から新しいことを学びます。

最初は私のホストスクールについてです。ベトナムの高校と日本の高校の間にはかなりの違いがあります。ベトナムの高校には音楽も美術もなく、

日本の高校には地理や化学がありません。また、ベトナムの授業時間はより快適で自由で、ほとんどの授業時間中に自分のスマホを使用してもいいです。ベトナムの高校は午前7時30分ぐらいに始まり、午前中、午後のある日だけ勉強します。ホストスクールでの経験について、私の日本語がまだ苦手なので、学校での授業はなかなか難しいですが、それでも講義を聞いたり、先生や友達に聞いたりしています。その上、皆さんもとても親切で、特に私のバディはとても助けてくれるので、私は毎日学校に行くのがとても楽しいです。



次はホストファミリーとの生活です。私は以前に日本に来たことがあり、ベトナムは日本と多くの類似点があるので、順応するのにそれほど苦労しませんでした。しかし、私はまだたくさんの新しい経験

をしていました。例えば、ベトナムではクリスマスが祝われることはあまりないので、クリスマスツリー

を飾ったり、クリスマスディナーを食べたり、ホストファミリーからプレゼントをもらったりすることができて嬉しかったです。また、初めて着物を着ました。牛久、大洗水族館など色々なところに遊びに行きました。



上で書いたように、日本での滞在時間は短いものの、コロナの影響もありましたが、たくさんの良い経験と良い思い出がありました。日本での生活を体験する機会を与えてくれた架け橋プロジェクトにとても感謝しています。



茗溪学園 キヤヌ・アイバン・アガナ〈フィリピン〉

どのようにして Asia Kakehashi Project が私の人生を変えたか。

一生に一度は日本に住む、または日本を訪れることが私の夢でした。そして今、その夢がすでに叶ったので、感激しています。私はこの国の伝統と文化には本当に驚かされました。フィリピンから日本への交換留学生に選ばれるまでは、私は普通の学生で、特別なことは何もしていませんでした。

この留学で、私は多くのことを経験しました。今思えば、これは単なる日本での生活とはどのようなものか、体験するものだと思っていましたが、その過程で多くの反省をしたことに気づき、驚きました。留学は、精神的、肉体的、そして知的にも大変なことです。当初は環境に適応するのが難しかったですが、私はこの変化に対応するため全力を尽くしました。普段はしないような自立心や予算管理についても学びました。また、自分のコンフォートゾーンを飛び出し、今までやったことのないような新しいことや活動に挑戦しました。さらに、共感力が高まり、みんなの気持ちを理解し、相手の立場になって考えることができるようになりました。もうひとつは、問題解決に前向きになったことです。困難を解決するために課題について分析し解決する力が向上したのです。その人の背景や出身に関係なく、誰に対してもオープンになれました。最後に、この旅を通して、私はより成熟し、自分の不安や弱点を受け入れ、日本での滞在をより良いものにするために努力できるようになりました。

これらの学びや経験は、今の私への足がかりとなっています。この旅は、私をより良い人間へと変えてくれました。この交換留学を終えても、まだまだ先は長いと思いますが、学んだことを活かして、これからも自分を高めていきたいと思っています。



ホストファミリー体験記

イエウォンとの思い出

ホストファミリー：川崎家



○留学生、シン・イエウォンが我が家にやってきたのは10月17日、彼女の17歳の誕生日前日でした。誕生日には、守谷市で人気のサンタムールのケーキを買って、みんなで祝いをしました。やってきたばかりでちょっと緊張していたようですが、喜んでくれたようです。

○普段同じ学校に通うホストシスター、瑞永（みずえ）と休日に共同でお菓子作り。この日にできたのはチョコブラウニー。外はサクサク中はしっとり、とっても美味しくできました。



○正月にひたちなかのばあばの家で日本のお正月を経験し、帰省した長女、響子と一緒に大洗の海に行ってきました。

○成人の日には成人した響子の写真撮影にも同行しました。

○3月、もうすぐ留学も終わりに近づいた頃、家族揃ってグランピングに出かけました。イエウォンは笠間焼のロクロ回しにもチャレンジしました。夜は星を見上げながら暖かいココアを飲んだり、家族でゲームをしたりして楽しみました。



ベトナムからの留学生マイさんと過ごした5ヵ月

ホストファミリー 角田家

7月の終わり頃に10月からのホストファミリー決定の連絡があり、わくわくしながら夏休みに受け入れの準備をしました。コロナ禍の為マイさんが我が家にやってきたのは予定より約1ヵ月送れた10月31日でした。

マイさんはベトナムで日本語を学んでいて、簡単な日本語での会話のできたので生活で不自由なことはありませんでした。名前も日本の女の子によくある名前でしたし、普通に家族が増えた感覚です。

マイさんはマイペースでしたが、ベトナムとの生活習慣に大きな違いはなく我が家での過ごし方にもすぐに慣れてくれました。



フォーを作ってくれました



おいしかったです

10月の終わりから3月13日まで、日本の行事と一緒にしてきました。

★クリスマス

★年末年始・七草粥・鏡開き

★節分★バレンタイン★ひな祭り



クリスマスはベトナムでは習慣がないようで初めての体験だったそうです。年始には振袖を着られる機会があり写真を撮るだけの予定でしたが、そのまま初詣に行くこともできました。出かけるのをためらいながらも近場の観光地に行ったりベトナムにはないアイススケートを体験したりと、角田家も子供が大きくなると家族で出かける機会が少なくなる中、マイさんがいる間にみんなでたくさん楽しみました。



本来ならお友達とたくさん遊びに行ったり、もっといろいろな体験ができる期間も、AFSからの行動制限があり諦める事が多かったと思います。コロナ禍の不安の中、マイさんからの要望に応じてあげることができないこともあり心苦しい事もありましたが、マイさん・角田家ともにコロナに感染すことなく元気に過ごせて良かったと思います。

7月の初めごろにマイさんから日本語検定試験をうけてきました！とLINEがありました。数か月の日本の滞在でしたが今回のホームステイの経験が合格につながってくれたらうれしいです。

ホストファミリーの思い出

茨城つくば支部
ホストファミリー 深作 雅文
陽子 大空

新しい家族を迎えて

キアヌ アイバリアガナ (Keanu Ivan Agana) さん



2021年12月25日、クリスマスにキアヌ君を我が家に迎えました。(R3.12月25日～R4.1月10日)

キアヌ君は、まだまだ日本語での会話が難しいようでしたが、早速持参したたくさんの写真を見せながら、自国フィリピンのことを一生懸命紹介してくれました。

コロナ禍で、思うように外出できない日常にあって、ホストファミリーとして何ができるか？正直、今までの受け入れとは違う難しさを感じてのスタートでした。

お家時間の過ごし方

- ① お料理を一緒にする。
- ② 初めてのことにチャレンジする。
ピアノ・コントラバス・茶道
- ③ 近場の外出
初詣・買い物・サイクリング etc.



コロナ感染が心配で遠出ができないと嘆いていましたら、思わぬプレゼントが天からありました。❄️ ☆
雪です。フィリピン出身のキアヌ君は、生まれて初めて見る雪に大興奮！寒さも忘れて雪遊びを楽しんでいました。

また、**しぶんぎ座流星群**も一緒に見ることで、良い思い出になりました。

今回、キアヌ君のホストファミリーを引き受けて、何気ない日常の中に文化があり、思い出深い体験があると、改めて気づくことができました。

キアヌ君、どうもありがとう ♡



留学生ギョンス君と過ごした冬休み

ホストファミリー 仲山 功・美保・剛・真珠子・美華子



2022 年冬休み、韓国からの留学生ギョンス君を家に迎えて、約 2 週間を一緒に過ごしました。ギョンス君は日本語が上手なのはもちろん、とても笑顔の多い青年でした。息子と相部屋で過ごしてもらっていたのですが、暖房を付けて部屋にこもるのではなく、「寒い〜。」と言ってリビングのこたつに入って来て寝転がって一緒にテレビを楽しめるような、人の懐にぼんと入ってこられるお子さんと、家族の一員となるのにあまり時間はかからなかったように思います。



うちの子どもたちとは、カードゲームやおうち卓球やバレーボールなどをしている間に、あっという間に仲良くなりました。特に、夜家族みんなでやった、回り将棋、将棋で山崩し、トランプで大貧民、花札など一緒に遊んでいるうちにすぐ打ち解けることができました。そのとき、ギョンス君は自分のトランプでいろいろな手品や技を見せてくれました。その中の簡単な技を現在 2 年生の末娘に教えてくれました。今ではそれが末娘の定番技になっており、ギョンス君から教えてもらったと人によく見せています。末娘は、優しいお兄ちゃんがとても嬉しかったようで、今でもギョンス君に自分からカカトークで連絡を取り合っていることがあり、とても懐いておりました。



ギョンス君とお母さんとも連絡を取り合いました。ギョンス君の優しい人柄は韓国のご両親と、祖父母との三世代家族の中で育まれたものと分かり、ほほえましく思いました。韓国のおすすめのおやつや食品を大量に送ってくれて、とてもおいしくいただきました。今度は日本から何かとただいま考え中です。韓国にも親戚ができたようで、私もとても嬉しく思います。



ギョンス君との最後の夜、みんなで回転ずしに行きました。日本に来たら回転ずしでしょ！と主人が気をきかせて最後みんなで外食したのですが、実は、ギョンス君は生魚が嫌いで韓国では食べたことがないとギョンス君のお母さんに聞いてびっくりしました。ギョンス君は、私達のおすすめのネタをたくさん食べてくれましたし、全然嫌いそうには見えなかったのです。ギョンス君に後で聞いたら、あのときはみんなで食べたからとてもおいしく感じたと言ってくれましたが、気を使ってくれる優しい青年なのは言うまでもありません。次に日本に来て寄ってくれたときには、大好きな焼肉に連れて行ってあげようと思います。



日本に興味をもって日本語を自分で学習しつつ留学を決意してくる留学生の頑張りに、今回 2 回目の受け入れながら毎年頭が下がる思いです。コロナという難しい時期に、親元を離れて来日した留学生に、日本の家庭のよさがたくさん伝わっていれば嬉しいです。また、これからも関係を続け、日本の親戚として彼らの成長を応援していきたいと思います。



ギョンス君と将棋やオセロなどのゲームを一緒にできたことが楽しかったです。初めてやるものでも理解が速く、頭の回転のよさを感じました。そのほかにも、バドミントンやボーリングやゴルフと一緒にやりました。最後に、ゴルフの本コースと一緒に回れたのはギョンス君にも楽しい思い出になったのではと思います。立派になって、また会いに来てくれるのを楽しみにしています。父より



ギョンス君とは友人ではなく、家族になれました。今年もコロナがあり、特別なところへは行くことができませんでした。でも、犬の散歩や勉強、スポーツなど日常と一緒に過ごす中で、特別な客人ではなく家族の一員として受け入れることができました。



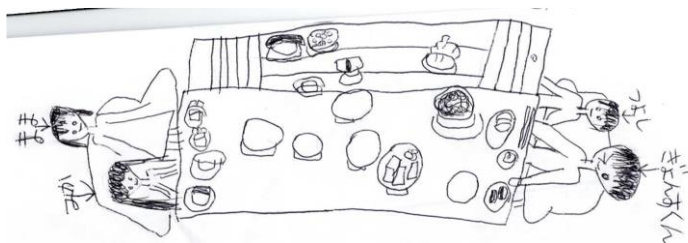
ギョンス君はとても明るくて、僕たちの誘いにも積極的に参加してくれました。みんなで出かけて帰ってきた後、僕が犬の散歩に行かなければならないとき、「疲れていると思うから家で休んでいなよ。」と僕が言っても一緒についてきてくれました。後で「何でついてきてくれたの？」と聞くと、「だって一人では寂しいじゃん。」と言ってきて嬉しかったです。この言葉は一番印象に残りました。ギョンス君の受け入れをして本当によかったなと思いました。長男(中3) 剛より



ギョンス君と一緒にボーリングに行ったことが楽しかったです。ギョンス君と勝負しようねと話しながら言ったのですが、ギョンス君はとても上手でびっくりしました。2回目だと言っていたのに、私は絶対勝てると思っていたのに、ぼろ負けでした。また、リベンジしたいです。長女(中1) 真珠子より



ギョンス君と最後にお寿司を食べに行きました。ギョンス君はいっぱいお寿司を食べてました。サーモンとまぐろを食べてました。「おいしい。」と言っていました。次女(小2) 美華子より



イオンの幸せの黄色いレシートキャンペーン (つくば)

イオンでは毎月11日に「幸せの黄色いレシートキャンペーン」を行っています。AFS 茨城つくば支部もこのキャンペーンに登録しています。キャンペーンに参加するにはその日の買い物の際の黄色いレシートをレジ脇の「AFS 日本協会つくば支部」と書かれたボックスに入れます。するとレシートの総額の1%の金額が登録された団体に還元されます。現在はつくばイオンの登録団体になっています。

この黄色いレシートキャンペーンにより還元されたお金は、AFS 茨城つくば支部の活動で有効に活用させていただいております。

黄色いレシートを手にしたら「AFS 日本協会つくば支部」のボックスに！

現在コロナ禍の影響でキャンペーンは中止となっておりますが4月位から再開の予定です。

皆様のご協力に心から感謝いたします。



アジア高校生架け橋プロジェクト 5期生

2022年6月からアジア高校生架け橋プロジェクトの4人の留学生がつくばで学んでいます
5期生は2023年3月14日に帰国します

ホストスクール	国籍			氏名	HF
茗溪学園高等学校	タイ			Kittitee Tuppa 呼び名：サキ	茗溪寮 持家家、 小林家、中野家 (休暇中)
竜ヶ崎第一高等学校	トルコ			Esenoglu Yagmer 呼び名：ヤームル	岸家
並木中等教育学校	インドネシア			Sihotang Imelda 呼び名：イメルダ	河野家
並木中等教育学校	ベトナム			Nguyen Le Bao Ha 呼び名：ハー	今家
茗溪学園高等学校 早期帰国	中国			Chen Xin 呼び名：レイ	茗溪寮 塩野家 (休暇中)

みんなさんこんにちは！

並木中等教育学校 イメルダ（インドネシア）

はじめまして私はイメルダシホタンです！私はインドネシアからの交換留学生で、今つくばに住んでいます・時が経つのは早すぎますね、今、私は日本に3ヶ月住んでいます。私のホスト学校は茨城県立並木中等教育学校、日本の生活はとても楽しかったです。



私の学校の初日、たくさんの女の子がわくわくして、私の友達になりたがっています。私はとてもうれしかったです。私の友達はいつも私を助けてくれます。先生もとても優しいです。

私の部活は英語部と美術部です。英語部は今debateやっている。11月5日はdebate大会がある。美術部はとても楽しいです。なんでも書く大丈夫です。学校での私の好きな科目は美術と数学です。私は綿引先生が大好きです。綿引先生はとてもやさしいです。

夏休みは北海道とおくたまへ行きました。ホストファミリーと行きました。北海道は飛行機で行きました。北海道はとても寒いです。北海道は北海道大学に行きました。北海道大学はとても大きいです。北海道でたくさん食べ物を食べました。北海道のシーフードはとても美味しいです。奥多摩はお母さんのお母さんの家に行きました。



夏休みはときどき友達とつくばで遊びました。

9月は運動会があります。私はサッカーをしていました。運動会はとても楽しかった。



10月11日はハーさんと東京ディズニーへ行きました。とても楽しかった。東京ディズニーはめっちゃきれいです。そこでたくさん写真を撮りました。

10月15日は留学イベントがあります。イベントがとても楽しかった。写真もたくさん撮りました。

まだ日本に来て5ヶ月ですが、たくさんの友達を作って、たくさんの新しい経験を積んでいけたらいいなと思っています。



新しい文化の発見

竜ヶ崎第一高等学校 ヤームル（トルコ）

こんにちは、トルコのヤームルです！もう架け橋の4ヶ月終わっちゃいました！今日は自分の留学の話をしたいと思います！この4か月でわかるようになったことはトルコと日本の文化の違いでした。もちろん、違ってたけど経験があるともっともっとわかるようになりました。やっぱりこれは留学のドキドキする所やで！

まずは剣道部に入りました！トルコでキックボクシングやってますから剣道と似ていると思っていた。もちろん皆も優しく、剣道部の先生がめっちゃくちゃかっこよかったです。先生を自分の師匠みたいです、先生を尊敬しています。

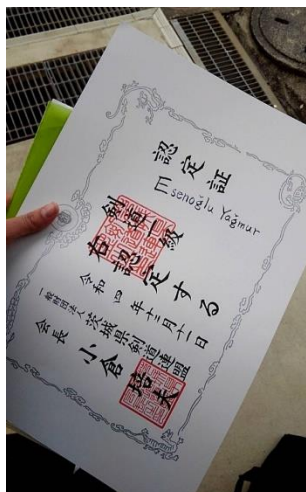
10月29日初めての大会に出ました。この日はトルコの共和国記念日でしたから自分の国のためにも頑張らないと思いましたけど負けました。でもこれで剣道のこともっと好きになったかもしれません。剣道部に入って良かったなと思ってます。本当にいい友達出来ました。感謝しますよ！



色々な所に遊びに行きました！ホストファミリーと、学校の友達と、最近他の架け橋の友達と一緒にいったや！色々な人と話して新しいことを学ぶのはめっちゃ便利で！



ルールで自分が住んでいる県の外に自分で行くのはだめだから、自分が住んでいる県の人になろうと思いました！もう電車と一人で乗ることができるから今日からの予定は‘日本を楽しんで、いっぱい美味しい料理食べて、遊びに行って、この4か月を楽しみ’です。トルコに帰る前にできることの全部やらなきゃ！聞いてくれてありがとうございます！





はじめまして、**タイ**の「**タッパ・キッティティ**」です。名前は難しいから短くて「**サキ**」と呼んでください。日本で**2022年**の**7月**から**2023年**の**3月**まで留学することになりました。留学させていただいた学校は**つくば市**、**茨城県**の「**茗溪学園高等学校**」です。色々な経験を積んでいます。授業内や、部活や、**寮生活**についてたくさんのことを学んでいます。外国として、日本生徒の勉強はとても難しいから50%しか理解できません。でもこの人は優しいし、人関係もいいから問題のやり方を教えてくれます。放課後にも**バレエ部**と**イラスト同好会**を入りましたので、授業が終わってもすぐに暇になるわけではありません。

留学について、両親は**心配せず**僕の**好きな国**に來らせてくれました。僕は**サバイバースキル**が高いから、生活の問題はあまりありません。でも**人々の関係**は本当に複雑だから、少し困っています。それでも**残っている時間を大事にしたい**と思っています。



つくば支部の留学生に対する日本語支援

留学生の日本語支援について

江畑まさ子

来日する留学生の日本語学習歴は数か月から数年までと異なります。留学することが決定して学習を開始する人もいれば、日本のアニメや漫画に興味があって日本文化に触れる機会があり、日本へ留学することになった人もいます。漢字文化を背景に持っている留学生の場合は、本人の努力次第で日本語を驚異的に習得しているようです。

母語の言語体系と全く異なる異文化圏で生活し、学習することはなかなか大変なことです。留学生には、留学の機会を得られたことに感謝して目標を達成して欲しいと思います。

日本語ボランティアとしては、留学生とホストファミリーが良好な関係を築けるよう見守りながら、学校生活に適應できるよう支援を行っています。日本語支援状況は、ホストスクールによって異なります。並木中等教育学校では、留学生は所属するクラスの授業をもとに本人の時間割を作成し、自習する時間にボランティアが日本語支援を行っています。通常の授業で当然理解できない科目は、留学生は自習せざるを得ず、相当な時間を自習していましたが、やむを得ないと思います。



検定試験を目標に継続的な支援となるように、ボランティアは支援ノートに記録し、LINEで情報を共有しながら行いました。留学生が漢字も使いながら書いた日記には、短い内容でも面白い表現がありました。

留学期間を有効に活かす為には自国にいる間に日本語を学習し始め、留学先で言語習得に最大限の努力をすることが必要だと思います。日本からの派遣生で、非英語圏に留学する場合も同様で、第二外国語を少しでも学習して臨めば、確実に異文化体験がより豊かなものになるでしょう。

2023 年 3 月末 3 人の留学生がつくばにやってきます

どうぞよろしくお願いいたします

日本の家族になってくださるホストファミリーを募集しています

Welcome to Tsukuba

2023 年度 留学生

ホストスクール	国籍			氏名	HF
茗溪学園高等学校	タイ			Witti Phornsawan ベル	海老沢家
並木中等教育学校	チリ			Tomas Riquelme Leuquen トマス	募集中
竜ヶ崎第一高等学校	ブラジル			Andre Takashi Ioshii アンドレ	募集中

一緒に国際交流をしませんか？

○AFS では、日本を肌で感じたいと思っている多くの若者を、家族の一員としてホームステイで受け入れてくださるホストファミリーを募集しています。日本にしながら多様な価値観や文化を共有できる、素敵な体験をしてみませんか？

○AFS 茨城つくば支部でスタッフとして一緒に活動して下さるメンバーを求めています。一緒に高校生の留学を支援する活動をしませんか？

連絡先：info-ibaraki-tsukuba@afs.or.jp



つくば支部お問い合わせ



ホストファミリーお問い合わせ

ホストファミリー Q and A

Q:ホストファミリーになるための条件はありますか？

A:受入れにあたっては家族が留学生を受け入れることに賛成していることが前提です。ご両親のどちらかが単身赴任のご家庭なども受入れることができます。

Q：英語が話せませんが・・・。

A:心配いりません。留学生が家庭生活・学校生活を通して日本語を覚えていけるように、むしろ、日々日本語で接することのほうが大切です。最初は双方とまどうこともあるかと思いますが、お互いに愛情を持って、理解していこうという気持ちがあれば大丈夫です。留学生にはボランティアの相談員がつきますので、困ったときには相談してください。

Q:ホストファミリーの経済的負担はどれくらいですか？

A:家族が一人増えることになります。食費（昼食も含む）と日々の諸生活費をご負担していただくことになります。シャンプーやせっけんなどの日用品を家族の一員として共有してください。
おこずかいや衣料品などは留学生が持参します。授業料や制服などはホストスクールに協力をお願いします。

AFS 茨城つくば支部 支部員・メンバー

○支部長・LP：吉田 慶子

○副支部長・会計・LP：江畑 まさ子

○事務局・LP：垂見 麻衣

○会計監査・LP：松尾 智美

○事務局：上島 恵

○事務局：久保田 愛恵

○事務局：正置 彩花

○事務局：グリーン 直子



AFS 茨城つくば支部ニュースレター きぼう 11 号

発行日：2022 年 12 月 15 日

編集：吉田 慶子 090-3695-7056 keiko.yoshida@afs.or.jp

発行者：（公財）AFS 日本協会 茨城つくば支部 支部長 吉田慶子

つくば支部 Facebook: <https://www.facebook.com/afs.tukuba.branc>

日本協会ホームページ <http://www.afs.or.jp>